

# 平成8年度 和歌山県文化奨励賞

## き の も と し し ま い ほ ぞ ん か い 木ノ本獅子舞保存会

創 立：昭和41年

会 長：谷河 績

所 在 地：和歌山県和歌山市

会 員 数：90名

### ◎業績及び経歴

県指定無形民俗文化財「木ノ本の獅子舞」は、毎年10月14日の夜と翌15日の昼間、和歌山市北部の木本八幡宮の祭礼に奉納されるもので、すでに500有余年の伝統を持つといわれている。

この獅子舞は、神に対する祈りと感謝の心をこめて行われる神事芸能であり、数々の障害を克服して今日まで伝承されてきた。

この舞は雄獅子で、青年2人が胴衣に入って演ずる勇猛果敢な獅子舞を地上とダンジリの上部地上5メートルに渡した二本の青竹の上で舞うもので、舞手には相当の修練を要する。

保持団体である同会は、かねてより幾多の発表会等に参加し、本県を代表する勇猛果敢な演技を発表するなど、保存と伝承に努めるだけでなく普及と公開にも積極的に取り組んでいる。

近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会、和歌山県民俗芸能大会等県内外での多数の大会を通じて、県内外の無形民俗文化財保持団体と交流を深めるとともに自己研鑽に努めており、本県の伝統文化の保護と普及に果たした功績は多大である。

### ■主な表彰歴等

- 昭和41年 和歌山県指定無形民俗文化財指定
- 昭和43年 第10回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会参加に対する文化庁長官感謝状（昭和58年及び平成7年にも同長官感謝状）
- 昭和43年 第1回和歌山県民俗芸能大会参加に対する和歌山県教育委員会教育長感謝状（昭和43年以降延べ8回）
- 昭和59年 くにうみの祭典（兵庫県洲本市）参加に対する兵庫県知事感謝状